

鹿児島県鹿児島市

甕の旅ソムリエ協議会

食文化チーム 大脇 裕美さん

～地域の人、地域外の人を問わず、
一緒に郷土料理を作る機会・食べる機会を創出する～



所属団体概要

- 【団体名】 甕の旅ソムリエ協議会
- 【設立年】 令和3年
- 【会員数】 8名 ※甕島のインタープリター4名と
島外で暮らす4名で構成
- 【問い合わせ先（大脇さん）】
(TEL) 090-9494-6628
(E-mail) cheeripple@gmail.com



家庭料理大集合の参加者と協議会スタッフ

※「インタープリター」とは？
人と自然を結びつける役割を果たす人のこと。

甕の旅ソムリエ協議会について

【設立のきっかけ】 『甕の旅ソムリエによる食文化プロジェクト』
「甕の旅ソムリエ」は、甕島の自然や暮らす人々の文化の保護・継承・発信などを通して、体験プログラムなどを実施している。
まちあるきと食文化が連動したプログラムで甕島の食文化の継承の芽を育てていくきっかけとして、令和3年度文化庁事業（「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業：『特色ある食文化の継承・振興に取り組む地域等に対し、その文化的価値を伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援することで文化振興・地域活性化に資することを目的』にチャレンジするために協議会を設立。

【目的】 『食文化が島の誇りとなるようにする』
甕島の食文化を継承する方法として、島外の人々の力も借りて、地域の人と一緒に郷土料理をつくる・食べる・発信する機会を増やす。
→地域の誇りである食文化と観光をつなげる。

- 【活動拠点】 『地域づくり交流拠点 あいなか』
- ・鹿児島市内の団地の一軒家。公民館と人の家の中間にあるような地域づくり拠点。「あいなか」は鹿児島県の方言で「あいだ」。
 - ・日常に利用できるほか、月2回の催し（サロンや地域食堂）を有志で運営している。地域食堂は、「一緒に食べる」ことで、顔見知りが増えて安心して暮らせるまちづくりを目指している。



キッチンカーで
コーヒー提供もしている。

これまでの活動概要

- (1) 調査研究事業…甕島の地区ごとに異なる食文化の素材の掘り起こし、食文化の文化的価値を明確化して、文化財としての登録・指定等に資する調査研究に関する事業
- (2) 保護継承事業…甕島の食文化の継承に関する事業
- (3) 発信等事業 …「食文化」×「体験」による新たな価値の創造に関する事業

活動詳細

・冊子「旅と暮らしと食さんぽ」の作成

島内にある限られた食材で工夫してつくられ、それぞれの集落で歴史的な背景や暮らしによる違いがある甕島の食文化。

高齢化が進み、伝え聞くことそのものが難しくなっている現状もあるが、島の食を知ること、歴史を知り、先人たちの知恵を学ぶことができる。

本冊子は、甕島の暮らしと食文化に触れることができる。

島外の人間として地域に貢献するため、甕島の食文化に興味を持ってもらいたいとの思いから、ストーリーを伝える食文化の冊子を作成した。



・海プロジェクト（ツアー）の実施

甕島の食文化と漁業は深いつながりがあることから、漁師さんから話を聞いて、漁業を体験し、一緒に郷土料理をつくる・食べる機会を提供し、ツアー客が発信する機会を創出するプロジェクト。

鹿児島市内の若い世代や島内の移住組などが参加した。

ほか



活動に取り組む中で感じる課題・問題点

- ・「移住者や地域外の人」が地域の郷土料理を継承すること
→地域の人だけで継承していくのではなく、地域内外の多様な関係者が協力することが大切。
- ・地域の郷土料理を継承する担い手不足
→郷土料理について話すことも「担い手の重要な役割」。
→「甕島郷土料理研究会」を島の人と立ち上げ、郷土料理を食べる機会、遭遇する機会を作っている。
- ・地域の方で、郷土料理に関する想いやストーリーを話せる人が少ない
→島に暮らす人がひとりでも多く、他所（他者）に郷土料理の魅力を伝えるようになってほしい。
そのためにも外部のひとがその魅力を島の人に伝えることも重要。



和食文化の保護・継承について

- ・「食×体験」など色々なコンテンツを組み合わせ、郷土料理をつくる機会・食べる機会・発信する機会を創出する。
- ・「食」に関する取組みは、つくことに興味や関心がある人（例：料理人や料理好きな人）だけではないことを伝えたい。
→料理や情報発信が苦手な人も、色々な場面でそれぞれの役割があるから、得意不得意、地域内外等問わず一緒に活動したい。



今後の展望・目標

今まで地域の食文化を継承してきた先輩方の生きがいや活躍の場を大切にしながら、新たな方法を模索しながら継承していく。

そして、島の食文化に誇りを持ち、誰もが担い手になれる役割があることを伝えて、継承の取組みを続けていく。



★ネットワーク九州会員の方々へ★

ぜひ甕島に遊びに行ってください！！

